

ANAグループは持続可能な社会の実現に貢献していきます



ANAグループでは、社会課題の解決に取り組み、持続可能で豊かな地球づくりを目指しています。

●「COOL CHOICE」を応援しています

真の「環境リーディングエアライン」を目指して中期環境計画「ANA FLY ECO 2020」を策定し、CO₂排出量抑制に向けた様々な取り組みを進めています。航空機の運航においては、2020年度までに国内・国際線の有償輸送トンキロ当たりCO₂排出量の20%削減（2005年度比）を目標とし、2016年度末に19.9%まで削減しています。

また、地上エネルギーにおいては、省エネ法の削減目標である「年1%」を大きく上回る3.9%を達成し、経済産業省・資源エネルギー庁から2年連続で省エネ優良事業者、最高ランク「Sランク」と公表されました。9月末には、新宿御苑で開催された「GTFグリーンチャレンジデー2017 新宿御苑」に出展し、環境・社会貢献活動をご紹介しました。

ANAグループは、今後も環境保全に積極的に取り組み、「地球環境のことを想う心」をお客様と一緒に共有してまいります。



GTFグリーンチャレンジデー2017 新宿御苑

●高校生が育てたグローバルGAP認証取得のお米を機内でご提供します

ブルーナンバー財団（本部：ニューヨーク）が世界で展開する「ブルーナンバー・イニシアティブ」に日本企業として初めて参加し、透明性ある「食のサプライチェーン・プラットフォーム」の構築を目指して、機内食に使用される食材の生産者・納入業者の情報登録を順次進めています。

12月～2月の羽田・成田発国際線ファーストクラスでは、国際水準の第三者認証である「グローバルGAP」*を日本の高校で初めて取得し、グローバルGAP大賞を受賞した、青森県立五所川原農林高等学校の生徒たちが育てたお米をブルーナンバーに登録し、機内にてご提供します。

ANAグループは、食材調達においても環境保全や人権尊重に配慮することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



五所川原農林高等学校での稲刈りの様子

*「グローバルGAP」とは農業の使用基準、農産物の作り方、環境配慮、労働環境を含めた農業生産工程管理にかかわる国際水準の第三者認証です。

ANA Joins Blue Number Initiative

ANA Group is the first Japanese company to join the Blue Number Initiative, globally deployed by Blue Number Foundation (HQ in New York), an NGO registering food producer and supplier data to build a transparent food supply chain platform in Japan.

ANA registered rice grown by Aomori Prefectural Goshogawara Agriculture and Forestry High School students, which received Global G.A.P.¹ as the first Japanese high school and also won the Global G.A.P. Awards in the Blue Number; and is served on board Narita and Haneda outbound international First Class from Dec. to Feb.



ANA Group will also contribute to realization of sustainable society by giving consideration to environmental protection and respect for human rights during food production processes.

¹ Good Agricultural Practice: an international-standard third-party certification related to agricultural production processes, including agricultural chemical usage criteria, farming methods, environmental conservation, and working conditions.

ANA 加入 “Blue Number 倡议”

ANA集团作为日本企业首次加入Blue Number基金会（总部：纽约）在全球开展的“Blue Number 倡议”，该非政府组织对粮食生产者和供应商信息进行注册，以此在日本打造透明的粮食供应链平台。

ANA注册的大米由青森县五所川原农林高等学校的学生种植。五所川原农林高等学校是日本第一家获得全球良好农业规范（G.A.P.*¹）认证的高中学校，并荣获全球G.A.P. 大奖。此大米将于12月至2月期间在成田机场和羽田机场离港国际航班的头等舱上供应。

ANA集团将持续关注粮食生产过程中的环境保护和人权尊重问题，为建设可持续发展的社会而贡献一份力量。

*1: 良好农业规范 Good Agricultural Practice: 针对农业生产过程的国际第三方认证，其中包括农药使用标准、种植方法、环境保护和劳动环境等。



Contributions to the Sustainable Development Goals
为可持续发展目标贡献力量